

# ビジネスで社会面白く

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションワード（GIA）2017」で高校生初の大賞に輝いた中央中等教育学校6年の奥谷哲郎さん（17）が、受賞プランを磨いて新たな事業案に取り組んでいる。「味覚VR」のイノベーションで食物アレルギー患者を救うサービスを模索しており、「社会を面白くするビジネスをしたい」と意気込む。高校生の起業家育成でGIAと連携する慶応大湘南藤沢キャンパス（SFC）の環境情報学部への進学も決定。来春からより充実した環境でプラン実現を目指す。

GIA2017大賞 奥谷さん（中央中等）  
6年

新たなプランは嗅覚を刺激して、実際に口にしていく物とは異なる物を食べている感覚を味わせるシステムの構築。実現すれば、食物アレルギーの該当食品を食べる疑似体験が可能になるという。

## 新プラン「味覚VR」 実現目指し慶大進学

奥谷さんは、食物アレルギーの患者が安心して食事ができる飲食店を探せるアプリ開発のプランで大賞に輝いた。自身にもある食物アレルギーにまつわる受賞プランを磨いた末、「食べられないストレスを解決する」という夢をかなえる「味覚VR」にたどり着いた。

12月1日に、ヤマダグリートドーム前橋（前橋市）でGIA2018のファイナルステージと同時開催される群馬イノベーションマーケットに参加し、クッキーを使った実証実験を行う。GIAとSFCは17年に連携を開始。奥谷さんは受賞特典として、高校生部門の入賞者と昨年12月、GIA審査委員長の国領二郎・総合政策学部教授を訪ね、ビジネスプランについて指導を受けた。その後も研究

室の合宿に参加するなどしてプランを磨き、今年4月のGIA米国・シリコンバレー研修で起業に詳しい専門家を前に英語でプレゼンテーションした。

AO（アドミッションズ・オフィス）入試を受け、連携後第1号の合格者となった奥谷さんは「SFCでのプランのブラッシュアップの経験や、その結果、洗練できた事業案は入試の際の自信になった」と笑顔を見せた。

群馬イノベーションマーケットは、1日正午開場。奥谷さんは今回から新設さ

れたアリーナブースに出展する。

新たな事業プランを説明する奥谷さん

